

平成23年9月11日（日）

# 日 本 緑 化 工 学 会

## 平 成 2 3 年 通 常 総 会

千葉大学 けやき会館  
（千葉市稲毛区弥生）

### － 次 第 －

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議 案
  - （1）第一号議案 会則の改定
  - （2）第二号議案 平成22年度事業報告
  - （3）第三号議案 平成22年度決算報告
  - （4）第四号議案 平成23年度事業計画案
  - （5）第五号議案 平成23年度予算案
  - （6）第六号議案 役員の改選
5. その他
6. 閉 会

## 第一号議案 会則の改定

昨年の総会で、会則の改定により会計年度の変更を行った際、会則による役員改選時期（第 14 条 2. 会計年度の最初の日とする＝会則の改定により平成 23 年 8 月 1 日となった）から総会（9 月 11 日）までの期間、役員が不在になることの対策をしませんでした。

現在の会則には、この内容が抜けているので「後任者が就任するまでは職務を行う」旨の条項を追加する会則変更を提案するとともに、今年度の役員不在期間（8 月 1 日から 9 月 11 日まで）は前任者が業務を行ったことをご承認頂きたく、提議致します。

### 日本緑化工学会会則 改訂案 下線部分を改訂

現 行	改 定 案
第 3 章 役員及び評議員 (役員の任期)	第 3 章 役員及び評議員 (役員の任期)
第 14 条 役員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、会長は 3 期連続の重任は認めない。	第 14 条 役員の任期は <u>選出されてから次の改選期まで</u> とし、再任を妨げない。ただし、会長は 3 期連続の重任は認めない。
2. 役員の任期は、会計年度の最初の日とする。	2. <u>役員の改選は 2 年ごとに行う。</u>
3. 補欠または増員により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。	3. 補欠または増員により選任された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

※ 現行の会則第 14 条 2. 任期の始まり については、選任日・就任日が任期の始まりであるため、会則で規定しない

参考： 第 43 条 の改定（平成 22 年 9 月 25 日承認）

本会の会計年度は、毎年 8 月 1 日に始まり、翌年の 7 月 31 日に終わる。

附則 会計年度の変更は平成 22 年度を平成 22 年 10 月 1 日から平成 23 年 7 月 31 日までとすることによって行う。

平成 23 年 9 月 11 日

(平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年 7 月 31 日)

1. 第 42 回日本緑化工学会大会 ※平成 23 年度事業計画に掲載  
開催年月日：平成 23 年 9 月 11 日～13 日 於：千葉大学
2. 研究会等
  - (1) 積雪寒冷地緑化研究部会 講演会  
開催年月日：平成 22 年 12 月 16 日 13：30～16：30  
開催地：釧路地方合同庁舎 5F 第 1 会議室 (釧路市幸町)  
テーマ：「自然公園内における法面緑化の考え方と今後の課題」  
参加者数：70 名
  - (2) 都市緑化技術研究部会 浦安市の液状化調査 参加人数：延べ約 130 名  
平成 23 年 10 月に報告会 (シンポジウム) を予定 ※平成 23 年度事業計画に掲載
    1. 4 月 1 日 事前調査
    2. 4 月 7 日 事前全域踏査
    3. 4 月 13 日 全体会議 分科会設立
    4. 4 月 16 日 樹林分科会現地調査
    5. 4 月 17 日 表層基盤・芝生分科会
    6. 4 月 19 日 街路樹分科会
    7. 4 月 26 日 表層基盤・芝生分科会追加調査
    8. 5 月 10 日 表層基盤・芝生分科会追加調査
    9. 6 月 1 日 調査結果とりまとめ会議
    10. 7 月 4 日 樹林追加調査
  - (3) 乾燥地緑化研究部会 図書の発行  
部会主催で複数年にわたって行ってきた中国乾燥地についてのシンポジウムの内容をまとめた図書「風に追われ水が蝕む中国の大地 緑の再生に向けた取り組み」(吉川賢, 山中典和, 吉崎真司, 三木直子編) を平成 23 年 6 月に発行した
3. シンポジウム
  - (1) 日本緑化工学会 2011 年シンポジウム  
開催年月日：平成 23 年 2 月 1 日  
開催地：国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都渋谷区)  
テーマ：「斜面緑化の過去・現在そして未来」  
参加者数：155 名
4. 学会誌の発行
  - (1) 第 36 巻 2 号：平成 22 年 11 月 30 日発行 136 ページ
  - (2) 第 36 巻 3 号：平成 23 年 2 月 28 日発行 94 ページ
  - (3) 第 36 巻 4 号：平成 23 年 5 月 31 日発行 84 ページ※第 37 巻 1 号は平成 23 年度事業として刊行済み ※平成 23 年度事業計画に掲載
5. 英文誌 Landscape and Ecological Engineering の発行
  - (1) Vol. 7 No. 1：平成 23 年 1 月発行 160 ページ (18 編)
  - (2) Vol. 7 No. 2：平成 23 年 7 月発行 140 ページ (15 編)2011 年 6 月 29 日に発表された Impact Factor (2010) の係数 0.722 (アジアで初めて)

## 6. 平成 22 年度日本緑化工学会賞の授与

功績賞 亀山 章氏：

技術賞 日置 佳之氏（鳥取大学）・サントリープロダクツ株式会社天然水奥大山ブナの森工場・西武造園株式会社：

「サントリー天然水奥大山ブナの森工場における生物多様性緑化」

技術賞 東興ジオテック株式会社 日本樹木種子研究所：

「在来木本植物種子の早期発芽能力検定方法」

技術賞 日本植生株式会社：

「表土シードバンクを利用した吹き付け工法(マザーソイル工法)の開発とその検証」

## 7. CPD

### (1) 緑化・環境 CPD 協議会

会員数 904 名（うち当学会員 700 名）

### (2) 講習会などの認定と、CPD 参加証明書の発行

日本緑化工学会 32.5P

国土環境緑化協会連合会 30P

NPO 法人日本緑化工協会 7.5P

### (3) CPD プログラム認定委員会

プログラム認定を行った

### (4) その他

ホームページを全面的にリニューアルした

JAFEE による CPD プログラムに認定（第 42 回大会より）

## 8. その他事業

### (1) 日本緑化工協会主催「緑化工技術講習会」の後援

開催年月日：平成 23 年 1 月 31 日・2 月 1 日

開催地：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）

備考：講師派遣 2 名

### (2) 日本海岸林学会主催 国際森林年記念シンポジウム「海岸林を考える～東日本大震災からの復旧・復興に向けて～」の後援

開催年月日：平成 23 年 6 月 22 日(水) 13 時 30 分～16 時 15 分

開催地：木材会館（東京都江東区）

定員 300 名

## 9. 会員数（平成 23 年 8 月末現在、カッコ内は前年 8 月末、(( ))内は前々年 8 月末）

(1) 正会員： 736 名 (709 名) ((747 名))

(2) 学生会員： 124 名 (108 名) ((94 名))

(3) 賛助会員： 71 団体 (74 団体) ((80 団体))

(4) 購読会員： 38 団体 (38 団体) ((39 団体))

## 平成22(2010)年度 収支報告書

(平成22年10月1日～平成23年7月31日)

### 日本緑化工学会

	費目	予算額(A)	実際額(B)	差額(B-A)	対予算割合 (B÷A×100)	摘要
収入の部	正会員費	5,672,000	5,481,150	-190,850	96.64	正会員 736名 / 今年度入金 559名 (@8,000)
	賛助会員費	2,590,000	2,170,000	-420,000	83.78	賛助会員 71団体 / 今年度入金 58団体 (@35,000)
	購読会員費	304,000	304,000	0	100.00	購読会員 38団体 / 今年度入金 36団体 (@8,000)
	学生会員費	432,000	376,000	-56,000	87.04	学生会員 124名 / 今年度入金 70名 (@4,000)
	入会登録料	28,000	38,500	10,500	137.50	55名 (@700)
	投稿料	150,000	678,000	528,000	452.00	通常号(論文・短報)、大会号(論文技術報告)
	広告料	800,000	990,000	190,000	123.75	Vol.36-2～Vol.36-4分
	雑収入	600,000	522,234	-77,766	87.04	別刷・BN販売収入、著作権使用料、J-Stage有料閲覧費、利息等
	小計	10,576,000	10,559,884	-16,116	99.85	
	繰越金	3,256,945	3,256,945			
合計	13,832,945	13,816,829	-16,116	99.88		
支出の部	会議費	45,000	2,144	-42,856	4.76	理事会・評議会会議室借上費 他
	旅費交通費	350,000	167,180	-182,820	47.77	理事会交通費
	事務人件費	360,000	187,620	-172,380	52.12	本部経費、総務部会事務費、HP・ML管理費、サーバレンタル料
	通信費	720,000	739,027	19,027	102.64	会誌・会費請求書発送費、電話・FAX料
	事務用品費	250,000	97,671	-152,329	39.07	総務部会事務用品費、コピーリース料
	学会誌刊行費	4,500,000	4,280,045	-219,955	95.11	学会誌編集・製作委託費、J-Stage登録費用、英文誌出版補助費
	大会補助費	0	0	0	0.00	大会開催補助費
	シンポジウム・見学会補助費	300,000	129,022	-170,978	43.01	補助費(赤字補填分)、他学会共催シンポジウム補助費
	研究部会補助費	300,000	0	-300,000	0.00	補助費(赤字補填分)、活性化補助費
	委員会等経費	240,000	68,440	-171,560	28.52	編集委員会、大会誌編集委員会、国際誌編集委員会等経費
	事務委託費	1,800,000	1,449,690	-350,310	80.54	学会事務業務委託費(会員入退会、会費徴収、会計事務業務、英文誌刊行事務委託費等)
	CPD等経費	500,000	250,000	-250,000	50.00	管理経費
	諸会費	180,000	140,000	-40,000	77.78	JABEE、JAFEE
	雑費	30,000	36,561	6,561	121.87	振込手数料 他
予備費	4,257,945	0	-4,257,945	0.00	慶弔費 他	
合計	13,832,945	7,547,400	-6,285,545	54.56		
次期繰越金			6,269,429			

平成22年度 日本緑化工学会の収支決算内容を上記のとおりご報告申し上げます。

平成 23年 9月 1日

日本緑化工学会経理担当理事 高橋 徳

## 平成22(2010)年度 貸借対照表

平成23年 7月 31日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現金	67,660	前受け会費	318,000
預け金	6,394,527	未払い費用	394,969
未収金	520,211	次期繰越金	6,269,429
合 計	6,982,398	合 計	6,982,398

### － 財 産 目 録 －

#### 資産の部

科 目	摘 要	金 額
現金	事務局	67,660
預け金	みずほ銀行 本郷支店	6,941,158
	本郷郵便局	-580,541
	本部(東京農業大学)	33,910
	小 計	6,394,527
未収金	広告費、BN販売	33,080
	別刷り代(34巻1号) (3件)	26,200
	別刷り代(35巻1号) (1件)	8,700
	別刷り代(35巻3号) (1件)	8,500
	別刷り代(36巻1号) (5件)	40,800
	千葉大会 準備費	364,331
	別刷り代(36巻2号～4号) (4件)	38,600
小 計	520,211	
合 計		6,982,398

#### 負債の部

科 目	摘 要	金 額
前受け会費	平20(2008)年度	16,000
	平21(2009)年度	24,000
	平22(2010)年度	278,000
	小 計	318,000
未払費用	緑化・環境CPD協議会 会費	250,000
	勝美印刷㈱ 事務委託費(7月)	144,969
	小 計	394,969
合 計		712,969

### － 会 計 監 査 報 告 －

平成22年度(平成22年10月1日～平成23年7月31日)仮収支決算報告書および財産目録に基づき、帳簿類を監査したところ、適正であることを認めます。

平成23年 月 日

平成22年度 日本緑化工学会 監事

同上 監事



平成23(2011)年度 日本緑化工学会(英文誌)

【貸借対照表】 < 平成23年 7月 31日現在 > (単位:円)

借方(資産の部)		貸方(負債の部)	
科目	金額	科目	金額
預け金	-70,481	前受金	51,450
未収金	191,100	次期繰越金	69,169
合計	120,619	合計	120,619

(資産の部)

科目	摘要	金額
預け金	みずほ銀行 本郷支店	-1,783,031
	本郷郵便局	1,712,550
	小計	-70,481
英文誌出版補助費		0
未収金	会費 正会員 (13名)	161,700
	学生会員 (4名)	29,400
	小計	191,100
合計		120,619

(負債の部)

科目	摘要	金額
前受金	会費 (7名)	51,450
合計		51,450

【収支報告書】 < 平成22年10月1日～平成23年7月31日 >

	費目	予算額	実際額	差額	摘要
収入	正会員費	727,650	573,300	-154,350	会員91名/今年度入金65名
	学生会員費	33,600	12,600	-21,000	会員7名/今年度入金3名
	出版補助費	150,000	150,000	0	
	小計	911,250	735,900	-175,350	
	繰越金		185,194		
	合計		921,094		
支出	購読費 LEE誌	749,700	701,925	-47,775	購読料(6巻2号、7巻1号)
	諸会費 2011年	150,000	150,000	0	ICLEE運営事務負担金
	合計	899,700	851,925	-47,775	

次期繰越金	69,169
-------	--------

— 会計監査報告 —

平成23年度(平成22年10月1日～平成23年7月31日)仮収支決算報告書および財産目録に基づき、帳簿類を監査したところ、適正であることを認めます。

平成22年 月 日

平成23年度 日本緑化工学会 監事

同上 監事

## 第四号議案

### 日本緑化工学会 平成 23 年度 事業計画 (案)

平成 23 年 9 月 11 日  
(平成 23 年 8 月 1 日～平成 24 年 7 月 31 日)

#### 1. 第 42 回日本緑化工学会大会

開催年月日：平成 23 年 9 月 11 日～13 日

開催地：千葉大学西千葉キャンパスけやき会館 (千葉市稲毛区弥生)

発表題数：79 題 (論文 20、技術報告 36、研究交流発表 21)

※43 回大会(平成 24 年 9 月)は東京農業大学で開催予定 (3 学会合同で実施)

#### 2. 研究会

研究会の構成についてさらに検討した上で、1～3 回開催予定

- |             |              |              |
|-------------|--------------|--------------|
| ①斜面緑化研究部会   | ②都市緑化技術研究部会  | ③環境林研究部会     |
| ④生態系保全研究部会  | ⑤乾燥地緑化研究部会   | ⑥積雪寒冷地緑化研究部会 |
| ⑦生態緑化基盤研究部会 | ⑧生物多様性緑化研究部会 | ⑨緑・健康研究部会    |

##### (1) 斜面緑化研究部会 第 42 回大会にて研究集会を企画

開催年月日：平成 23 年 9 月 12 日

開催地：千葉大学 けやき会館 (千葉市稲毛区)

テーマ：「法面における自然回復緑化施工後の植生管理の実態から考える緑化  
目標設定のあり方」

##### (2) 緑・健康研究部会 第 42 回大会研究集会にて研究集会を企画

開催年月日：平成 23 年 9 月 12 日

開催地：千葉大学 けやき会館 (千葉市稲毛区)

テーマ：「被災者に対するメンタルケアとしての緑化・植物」

##### (3) 生物多様性緑化研究部会 restoration の研究集会を 1 回開催予定

##### (4) 都市緑化技術研究部会 シンポジウム

開催年月日：平成 23 年 10 月 13 日

開催地：すまい・るホール (東京都文京区)

テーマ：「浦安市の液状化と緑地に関する調査報告会」

##### (5) 斜面緑化研究部会 「緑化工技術講習会」にて研究会 (ミニシンポジウム) を予定

#### 3. シンポジウム

##### (1) 第 42 回大会 公開特別シンポジウム

開催年月日：平成 23 年 9 月 11 日

開催地：千葉大学 けやき会館 (千葉市稲毛区)

テーマ：「都市の沿岸防災と緑化」 演題：4

##### (2) 日本緑化工学会 2012 年シンポジウム

#### 4. 現地見学会

##### (1) 第 42 回大会見学会

開催年月日：平成 23 年 9 月 13 日

開催地：出光興産 千葉製油所「百年の森構想」(千葉県市原市姉崎海岸)

募集人員：40 名(先着・事前申し込み) 参加費：1,000 円

##### (2) 日本緑化工学会 2012 年見学会

#### 5. 学会誌の発行：4 回発行予定 (37 巻 1 号～4 号)



(既刊) 第 37 卷 1 号 : 平成 23 年 8 月 31 日発行 298 ページ

6. 学会賞の授与

- (1) 平成 23 年度日本緑化工学会賞の授与

7. 英文誌 Landscape and Ecological Engineering の発行 : 2 回発行予定

- (1) Landscape and Ecological Engineering(Vol. 8 No. 1, No. 2)

8. CPD

- (1) CPD 行事の認定と CPD ポイントの付与、CPD 参加証明書の発行
- (2) 会員の拡大・新会員への CPD カード発行
- (3) 地盤工学会サーバー費用を協議会より出金するため、当学会からは協議会へ会費計上する。必要に応じ認定委員会、検討部会を開催する。HP 管理費を計上した。

9. 東北地方太平洋沖地震 (東日本大震災) 震災対策調査

平成 23 年 10 月 13 日「浦安市の液状化と緑地に関する調査報告会」シンポジウムを開催するほか、各部会での活動を基本として、適宜調査研究等を行う。

## 平成23(2011)年度 収支予算書

(平成23年8月1日～平成24年7月31日)

## 日本緑化工学会

	費目	H23年度予算額 (A)	H22年度予算額 (B)	差額 (A-B)	摘要
収入の部	正会員費	5,888,000	5,672,000	216,000	会員数736名, @8,000
	賛助会員費	2,485,000	2,590,000	-105,000	会員数71団体, @35,000
	購読会員費	304,000	304,000	0	会員数38団体, @8,000
	学生会員費	496,000	432,000	64,000	会員数124名, @4,000
	入会登録料	28,000	28,000	0	40名, @700
	投稿料	380,000	150,000	230,000	
	広告料	1,000,000	800,000	200,000	Vol.37-1～Vol.37-4分
	雑収入	1,200,000	600,000	600,000	別刷・BN販売収入、著作権使用料、J-Stage有料閲覧費、利息等
	小計	11,781,000	10,576,000	1,205,000	
	前年度繰越金	6,269,429	3,256,945	3,012,484	
合計	18,050,429	13,832,945	4,217,484		
支出の部	会議費	50,000	45,000	5,000	理事会・評議員会会議室借上費, 他
	旅費交通費	400,000	350,000	50,000	理事会交通費
	事務人件費	360,000	360,000	0	本部経費, 総務部会事務費, HP・ML管理費, サーバーレンタル料,
	通信費	1,000,000	720,000	280,000	会誌・会費請求書発送費: 600,000, その他通信費(宅急便・郵送料 など): 280,000, 電話・ファックス料120,000
	事務用品費	300,000	250,000	50,000	総務部会事務用品費: 100,000, コピーリース料: 200,000
	学会誌刊行費	6,280,000	4,500,000	1,780,000	Vol.37-1～37-4編集制作費: 5,700,000, Vol.36-3～37-2 J-Stage登 録手数料: 430,000, 英文誌出版補助費: 150,000
	大会補助費	500,000	0	500,000	大会開催補助
	シンポジウム・見学会補助費	300,000	300,000	0	シンポジウム・見学会補助(独立運営不足金充当分)
	研究部会補助費	300,000	300,000	0	研究部会補助金(独立運営不足金充当分)
	委員会等経費	240,000	240,000	0	編集委員会, 大会誌編集委員会, 国際誌編集委員会他
	事務委託費	1,800,000	1,800,000	0	学会事務業務委託費(会員入退会, 会費徴収, 会計業務, 英文誌刊 行事務委託費等)
	CPD等経費	500,000	500,000	0	G-CPDサーバーレンタル料(地盤工学会): 250,000, 年会費: 250,000
	諸会費	180,000	180,000	0	JABEE: 100,000, JAFEE: 70,000, 森林・木材・環境アカデミー会費: 10,000
	雑費	30,000	30,000	0	振込手数料, 他
	小計	12,240,000	9,575,000	2,665,000	
予備費	5,810,429	4,257,945	1,552,484	慶弔費 他	
合計	18,050,429	13,832,945	4,217,484		

平成23年度 日本緑化工学会の収支予算内容を上記のとおりご報告申し上げます。

平成23年9月11日

日本緑化工学会経理担当理事

## 平成24(2012)年度 英文誌収支予算案

(平成 23年8月 1日 ~ 平成 24年 7月31日)

### 日本緑化工学会

	費 目	H24年度予算額	H23年度予算額	摘 要
収入	正会員費	668,850	727,650	正会員 91名 (@7,350)
	学生会員費	29,400	33,600	学生会員 7名 (@4,200)
	出版補助費	150,000	150,000	日本緑化工学会より
	小 計	848,250	911,250	
	繰 越 金		185,194	
	合 計	848,250	1,096,444	
支出		749,700	749,700	LEE誌購読料(7巻2号、8巻1号)
	諸会費	150,000	150,000	2012年 ICLEE運営負担金
	合 計	899,700	899,700	
次期繰越金		-51,450	196,744	

平成24年度 日本緑化工学会の収支予算内容を上記のとおりご報告申し上げます。

平成23年9月11日

日本緑化工学会経理担当理事